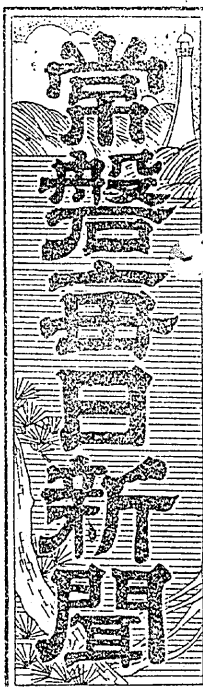


刊夕 日九月六



定額 一部五銭 二部十銭 三部十五銭 四部二十銭 五部二十五銭 六部三十銭 七部三十五銭 八部四十銭 九部四十五銭 十部五十銭 十一部五十五銭 十二部六十銭 十三部六十五銭 十四部七十銭 十五日七十五銭 十六日八十銭 十七日八十五銭 十八日九十銭 十九日九十五銭 二十日一百銭

### 偶感三則

眞繼雲山

禪にあつては一字不説、不立文字と稱へ、言説は物それ自体ではなくして、單なる説明に過ぎないと見る。故に言説を弄するにせよ、弄せざるにせよ、赤は赤、青は青、柳は緑、紅は紅であつて、議論により物自体が左右されることはない、故に言説をばなれ、黙して實相を觀することが悟道にいたる捷徑であり、その方法として禪には坐禪あり、天臺には止觀行がある。議論とアタマカズによつて正邪を決めてゆかうとする代議政治は、境を轉ぜんとして實は却つて自ら轉ぜられてゐる無用の葛藤に外ならない。如何多數決で勝つてみても邪は正とならず、悪は善とならず、醜婦が美人となるためしは無い。争ひは己れを知らず、相手を知り得ぬ暗愚な人間のみが持つ無用の餘技である。眞に實相を觀じ得ば言説の要はなく、然るに無用の言説を構ふるを佛教にては戲論といふ。

かつて故人澤柳博士は『孝道』といふ二千頁の大冊を著述して一世を驚嘆させたが、二千頁も費さねば孝行の説明が出来ないやうならば、さて一學問といふは不自由なもの、文字といふも禍ひなる哉である。愚人は、山高きを以て尊しとなし、下手な演説師は長きを以てえらしと心得るが、一時間の講演が五分間に於て目的を達し得るなら、聴衆に取つて五十分は大切な壽命の延長を意味し、二千頁の書籍の目的を廿頁にて説き得るなら、アトは時間と費用の節約となる。然るを、書物は太冊を以て貴重と心得るは目的と手段とを顛倒した錯覺であり、怒のためにあたら短い一生の間を精力と金を削り取られてゐるのである。

禪に、直指人心見性成佛といふは、月を見よ指を見るなである、萬卷の書籍に月は宿らず、書物や言説は月を指す指であることを知らねばならぬ。

× × ×

佛教にいふ悟りといひ、安心といふのは、まことの姿を誤りなく、まことの姿の通りに見るといふことである、地獄極樂が有るか無い

かゞ分らぬ間は不安であるが、分つて見ればその不安は除かれる、除かれたところが安心である。

親鸞聖人は、そのまことの姿を求めて歩まれた、さうして得られたのが眞宗であつた。眞の一字に聖人の生命はこもる。眞とは眞實であり實相である。

聖人は先づ第一に御自身の姿をハッキリと見つめられた、さうしてその結着は、罪惡深重煩惱具足といふ姿であつた。

定水を凝らすといへども、識浪しきりに動き、心月を觀ずといへども妄雲なほ蔽ふ。まことに知んぬ悲しきかな、愚禿、愛慾の廣海に波沈し、名利の大山に迷惑して、定水の數に入ることをよるこばず、眞證の證に近づくとをたのしむ、恥づべし、いたむべし、あゝ何といふ悲痛、何といふ嚴肅な告白であらう。さうした姿を見つけれられたと云ふに『彌陀の五劫思惟の願ひは、ひとへに親鸞一人がためなりけり』と知られたのであつた。

煩惱具足、罪惡深重と知りてこそ充たさるべき世界あり、向上の一路がある。それが充たしてやりたい救はずには措かぬ彌陀の本願と

相觸れたとき、そこに宗教の世界はひらける。攝取不捨の境、住不退轉位がそれである。向上の一路もなき、自分の姿さへ分らぬやうな會上慢の徒に、信仰の芽生へなく、その姿は犬猫にひとしい。蓋の固着した土瓶に、水の注がる日なき道理なるべし。

### 耳鼻咽喉科専門

## 増田醫院

平南町 (電話四八二番)



### 玉屋洋品店

平南町通電話六五五番

### 花柳科専門

## 木村外科醫院

入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番

赤い目に一滴できくかゆ目

### 神教水

(新容器入)

平町二丁目(電三二六)

### 堀藥局

### 貸切の御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷はの生命なり

### 耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町 (電話一七〇番)

## 大和田醫院

### 帝國生命

帝國生命保險株式會社現出契約加入者氏名簿を分譲す保險の再勧誘信用調査物品賣込等に絶好目標なり返信料三錢封入御照會次第委細回答す

東京 神田 通信販賣研究會

今川小路二の三

### 無代進呈

佛教書籍佛畫佛像具施本目錄ハガキ御申込み次第無代送呈(此の新聞名を御記入)

東京九段下 **日本佛教新聞社**

# 債務返済延期

## 猛運動

### 小商工業者が 苦境を述べて

貴衆兩院へ

昨報石城郡に農民救済運動起らんとする氣配を見せ居る折柄塗炭の苦にある平町の小商工業者は炭礦を始め農漁村と提携し議會の開期中を機とし苦境の實情を述べて債務返済延期其他不況打撃に依る救済策の確立を貴衆兩院に請願せんと十一日午後一時より四丁目和泉屋旅館に有志募集協議を爲し氣勢を擧げて目的貫徹に突進する模様である

### 長瀬廉平氏が

### 喜多流名譽教授

稱號を贈られた祝賀會

来る十二日に

平町古鍛冶町長瀬廉平氏は本年一月喜多流名譽教授の光榮ある最高の稱號を家元より贈られた爲め来る十二日正午からマルトモホール

### 軍隊見學の記

第四信

第二師團工兵第二大隊 第一中隊

平商學生見學團

日進月歩、早や第四日目を迎へました、短時日の間に兄弟の交りをなし、起臥を共にし、食卓に向つて談笑をかはせし兵營生活の體驗も今日限りと思ひ別離の情が湧くの如何とすることが出来ませんでした今朝は白む營舎の窓に

△明治十年四月平町二丁目に生る△同廿六年初めて喜多流謡曲の稽古を受く△同廿九年宗家喜多六平太先生の門に入る△大正二年喜多流教授を免許せらる△昭和七年一月名譽教授の稱號を贈らるにて平地方の喜多流普及に

## イワン値上り

### 鯉用の餌として 飛ぶ様な賣行も

最近の鯉漁場は千葉縣野島岬沖より茨城縣の沖合に移動し同地点には目下本縣、茨城、千葉、靜岡、宮城等各縣よりの漁船出場であるが本縣のみにも五十隻餘に及び是等漁船は銚子、木更津等に鯉の陸上をなし同時に重油食糧餌を船積みし再び出漁するので餌用の鰯が間に合はず殊に魚群の北上するにつれ鰯の買入を爲す漁船が小名濱江名等に續々入港する爲め江名町の小止みになり午前六時半頃兵營に名残りを惜しみつゝ八時發の急行電車に乗り、青葉山を後に宮城原を横切り小停車場を幾つか通過して約一時間にして鹽釜に到着、松島行遊覽船發迄に五分の豫備あるを利用して鹽釜神社に参拜す、やがて松島行の大鷲大鷹と名付けたる二隻のモーターボートに分乗して海上を渡る、霧立つ島を左右に見て行く中に雨が降出し、島の松島の

### 青訓講習

科目と講師

既報來月七、八兩日磐中、平商兩校に於いて行はれる郡下青年訓練指導員の講習見物も一興を催しました。松島町へ上陸したのは午前十時半五大堂に参拜して各自晝食して午前十二時急電にて松島停車場發午後一時にして仙臺に到着、それから五十分間三々五々市内を歩き、土産物を購買す、先輩の高野殿君が自轉車で來り別れを告げる。午後二時十分仙臺を發して懐しき故郷、平に我が列車は突進してゐます。(武田生記)

會の科目並に講師は左の如く決定した 青年の思想善導と教練

### 共同出荷徹底し 市場状況順調か

滞貨生糸の買上説も

郡下の繭價に好影響

石城郡下に於ける春繭の出盛期は十七日頃と目され四倉繭市場は十四日より開設されるが本年は不況の爲め仲買人の活動がにぶく夫れに同市場の共同出荷の宣傳が生産業者間に徹底した結果出荷順調を豫想され郡下の繭生産数を例年に比較して三割の減と見るも猶ほ取引高は四萬五六千貫に達するものと見られて居り取引相場も今回政府の滞貨生糸の買上説が好響して目下買上二圓四五十錢を唱へられて居るが更に五十錢以上の高値は豫想されると

### 早大から 何等の回答なし

磐中のコーチヤア招聘

磐城中學校野球部にては既報の如く来る二十日より十日間練習を行ふ爲め早稻田大學に對しコーチヤアの派遣方を申込たるも何等の回答なく本日豊口部長は早稲田全盛時代のキャンブテン久慈次郎氏と同級生であつた關係から同氏に其の奔走方を依頼した

### 女房の實印を 偽造行使

懲役十月求刑

既報石城郡草野村大字下神谷字中川原居住新妻國造(○)が妻の實印を偽造し連帶借證書を作り妻所有の土地を低當として金千百五十圓を詐取した私文書偽造行使偽造事件は昨日午後二時より平區裁判所に於て中島判事係市川檢事立會の下に公判開廷事實審理の結果檢事より懲役十ヶ月求刑されたが言渡は来る十三日午前九時である

### 競技部 新設

平商校に

平商業學校にては今回柔道

勿來共同販米 石城郡勿來町農會農業倉庫では去る六日在庫米の共同販賣を行ひ四等八俵、五等百俵等外四十二俵、計五百五十俵を入札せる結果四等建値八圓十錢を以て勿來町の平山昇、植田町の小野安兩氏に落札されたが前回よりも十六錢安であつたと

(縣社會教育主事)教練指導の實際(兩校配屬將校)

愛國唱歌寄贈 平町各小學校にては本日野間清治氏大日本雄辯會講談社より「愛國唱歌集」五十冊宛寄贈された

尋三郊外教授 平第一小學校井上訓導は本日午前九時より一時間三學年一組を引率城山丹澤に於て郊外教授を行つた

# 背後に警官の眼が

## 光るも知らず

### 花合賭博に無我夢中

#### 御用の聲にビツクリ

是れはまた ナンセンス 博徒の面々

今曉三時頃平署橋本警部補及び井上巡査が別項田町の放火事件捜査の爲め深夜の市内を

密行中 鎌田町周旋業

鈴木伊太郎方にて電燈が暗々と輝き銀貨のカチ合ふ音が聞えるので裏口硝子戸の破れた個處から忍かに屋内に這入り込み中の様子

様子を覗くと前記伊太郎(一)外同町鈴木木定一(二)同町賭博前科三犯紺野甚次郎(三)石城郡神谷村大字中神谷中野廣吉(四)等何れも常習賭博者の面々が車座となつて盛に花合賭博を行つて居るので橋本警部補と井上巡査は

勝負の 済む迄背後に座つて監視して居たに拘らず無我夢中の四名の者は少しも夫れに氣付かず愈々一勝負付いて金の遣り取りを初めたのを見濟し橋本警部補が「御用ダツ」と大聲一番突然に虚を突かれて吃驚仰天

逃ぐる 術も知らなかつた四名の者を繩に掛け有

無を云はず現行犯として平署に引致した尙ほ一座の紺野は最近賭博罪にて罰金百圓を言渡され未だ完納せざる間に又々逮捕さるに至つたものであると

給水場を増設 平第二小學校にては近く新校舎裏へ豫算金六十二圓を以て給水場を増設する事になつたと

## 昨夜田町に

### 放火事件

#### 火災頻發の折柄

##### 幸ひ未然に發見消火

昨今頻々と火災起り全町舉げて警備に全力を上げて居る矢先昨夜十一時頃平町田町五番地人事周旋業熊谷丈作方傍らの共同便所より發火大事に致らんとしたのを隣家福榮亭にて發見大騒ぎとなり消止め大事に至らなかつたが發火と同時に平署員が駆け付け火元を調査せる處發火箇所の便所内に炭俵に木屑を入れて何者か放火せる模様あり時節柄重大視して嚴重な取調を行つて居る

## 今度は

### 洞穴に

#### 屍体横る

石城郡飯野村字南白土地内山林の洞穴附近山路を同字山名勇(三)が通行中三十

才前後労働者風の男が行倒れとなつて居るのを發見し直に平署に急報したので係官が検死に出張したが同箇所には多數の洞穴が有り殆んど乞食の住居となつて居るので病氣の乞食が手當も受けられず絶命したものであらうと

## 悲惨な一家を

### 播磨小路青年が救済

平町字才穂小路金田庄二郎(一)は一ヶ月前に腦震盪を起し病床に苦吟する身となり一家はその日の糊口に事欠く様になりまた家内は某綿工場に勤めてゐたが身重にて働くこともならず四人の子供を抱いて途方に暮れてゐるのを見るに見兼ねた同町青年團では米、味噌、日用品等を持ち寄り救済して居るが本日町役場に救済方を願出た

## 自轉車泥

### 求刑通りに

昨報茨城縣久慈郡下小川村生れ目下住居不定前科三犯關養之助(一)が自轉車其他を窃取せる窃盜事件の言渡を公判は本日午前九時平區裁判所於て開廷されたが檢事の求刑通り懲役一年を言渡された

## 大格闘の末に

### 荒井巡查負傷

#### 思想犯人逮捕

##### 平署極秘に附す

昨夜十時半頃平署荒井特務巡查が思想犯某の逮捕に向ひ石城郡内郷村御臺境地内に追ひ詰めて捕へんとし大格闘となり同巡查は左眼を強打され其他顔面に負傷せ

明日のラヂオ 報豫氣天 今晩も明日も 東の風晴れたり 曇つたりと 雨により驟雨があ

## 今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- ラヂオスケッチ「初夏」
- K子供會
- 後六、二〇 コドモの新聞
- 村岡花子
- 後六、二五 カレントトピックス
- ハロルドパーマー
- 後七、三〇 講演「神道の根本義」神宮奉齋會宮城本部長富山春三
- 後八、〇〇 洋樂の夕行ふと

## 明日の部

- 獨唱 三浦環
- 後八、四〇 合唱と管絃樂「樂劇パルツァル」東京音樂學校管絃樂部員 指揮 フリントグスマイム 合唱 東京音樂學校生徒
- 後九、四〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組預告
- 前九、一〇 料理献立「鳥賊の井」松本良雄
- 前一〇、三〇 家庭講座「臺所とウイタミン」松室

## 警中生志望

### 多いのは實業

#### 上級學校は高校へ

警城中學校にては五年生二百五名に對し各々卒業後の志望を調査した結果左の如くである

## 落盤下敷

### 福島炭礦で

石城郡赤井村大字高萩字入ノ山居住の坑夫新瀧縣中浦原郡生れ酒井義平(一)は六日午後一時頃福島炭礦第七坑内にて作業中落盤のため胸部頭部を強打し自宅にて療養中九日午前五時死亡した

## 柔剣道の稽古

郡湯本町字八仙青年團では團員の武道精神の向上を圖る爲め當分同町小學校講堂にて午後六時より九時迄柔剣道を練習せしめる事になつた

## 職員籠球指導

平第二小學校にては本日職員連

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演  
近藤 紫雲畫

第七十一席 眞庭念流達人櫻井五助

美事な主計の突き

里見主計の道場に参つた浪人秋田丈助に敷下平八郎長谷部傳藏は主計の娘静枝に申付けて酒を取寄せ芽出度芽出度と云ひ乍ら茶碗を盃代りとして飲んでゐた、あまり道場が騒がしいから奥に臥てゐた主計が門人の山路金作を呼び



主「試合に参つた三人は戻らぬか」  
金「ハイ、只今酒を取寄せお嬢様に酌をしると申して居ります」  
主「先刻竹刀の音が聞えたが、貴様は三人と立合つたか」  
金「左様にございます、あまりの廣言に憎い事を申す奴この上は打据ゑて追返して遣らうと存じまして」  
主「手合せをしてウン負けたか、ナニ、長太郎が参つてこれも試合をいたしたと」  
金「左様にございます、残念ながら吾々共は敗れを取りましてございます」  
主「左様か、待て、此方が参つて追返してくれぬ」  
金作に手を取られ寝所を出で道場に來て  
主「各々方は未だお戻り

成らぬと申された故此儘引揚げるも残念と存じてそれで御縁繋ぎの爲に酒の御無心を致した、道場で酒を飲ませる事はならぬとあらば強てお立合下さい、但し病中にて竹刀を取ることが出来ねば強てお立合下さいとは云はぬ、又道場に於て酒を禁ずるとあらば當家にては盃を手に取りますまい料理店へ参つて一盃傾ける左様いたすには入用もかゝる、金子一兩ほど頂戴いたす吾々共三人は何れの道場に参る申し居る、酒宴は美人が居らぬと興が乘りませぬて

主「左様でもござらうが、道場に於て御酒をあがる事はならぬ、此處は門人に指南いたす所でございます」  
文「それは存じ居る、又吾々共も馳走にならうと思つてお訪ね申した次第では無い先生と手合せをいたす爲然し病中にて吾々の相手が

度なさい」  
これを聞いて娘の静枝が「阿父様、そのやうな事を遊ばしますとお身体に障りませう、阿父様に代つてわたくしがこの方々のお相手をしていただきます」  
主「イヤ、其方を差出すことはならぬ」  
静「左様でもございませうが、若しお怪俄なござりましては」  
主「武藝の試合をいたす上は打殺さるゝともうらむ處はない、さあ、秋田氏又長谷部殿敷下殿未熟ながらお相手をいたすであらう」  
静「まあお父上、お待下さい、わたくしがお相手いたします」  
云ふと三人は、アハ……と笑ひ

文「御令嬢は親孝行だナ、イヤ吾々も主計どののやうな病人を相手をいたすよりあなたの方やうな美しい女子を相手として試合いたすが風情もある、定めし薙刀か又小太刀をお使ひなされる事と存ずる、一本お相手をいたす」  
主「コレ、静枝出ではならんぞ、拙者がこの方々と手合せをいたす」  
と云ひつゝ衣類を脱いで稽古着と着替へ袴を穿き竹刀を取つてそれへ出た、これを見ると秋田丈助も支度して、これも竹刀を取つた道具は着けさせん、互ひに敷臺いたして左右に分れたが、主計はピタリと下段に取つた、丈助は青眼に取つてデリ、と進み寄り暫く

隙を窺つてゐたがエイと一聲秋田丈助が打込んで來たボン、と二ツ三ツ竹刀が合つたが、どうした事か秋田はポロリと竹刀を落す、そこをボンと主計が突き入れた、胸元を突かれてアツと云ふと丈助は仰に倒れた、主計はこれを見て竹刀を引き

主「これは失禮いたした、お怪俄はござらぬか」  
云はれて丈助は面目なげに起上り  
丈「甚だ御無禮いたした、流石に一流の御指南をなさる先生とて天晴美事のお腕前恐れ入りました」  
と云ひながら引下る、續いて出でたは敷下平八郎

際を窺つてゐたがエイと一聲秋田丈助が打込んで來たボン、と二ツ三ツ竹刀が合つたが、どうした事か秋田はポロリと竹刀を落す、そこをボンと主計が突き入れた、胸元を突かれてアツと云ふと丈助は仰に倒れた、主計はこれを見て竹刀を引き

貴金 屬  
時計及眼鏡類  
懐中 電燈  
キミガヨ電氣  
ランプ特約店

高橋時計店  
平橋町 小橋路

看護婦急派  
の求めに應  
じます

平町南町  
看護婦會  
電話三〇七番

りん病 永らく悩む人の福音  
天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥

世録 別府林

全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな  
雜誌 推獎 一方があらませうか  
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし  
慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服  
するも絶對胃腸傷害なき各業であります。  
尙ほ此の藥は責任速効藥で二日以内服して効なき時は  
殘藥引換に全部異議なく返金します。  
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢  
性、悪性の人は七日以上服差して下さい。  
美本淋病治療書無代進呈 此の新開各記入申込者に  
付前金申込者には送料無料、新品送藥す。  
代金引換廿三銭手数料金納の事。

藥價  
急性用(黒箱) 一週分 參圓  
慢性用(赤箱) 一週分 五圓

特約 一 平町古鍛冶町一〇  
手販賣 阿康藥舖  
縣社ノ下(電話四四番)

三井 夕クシ

電話六八五番

香りのヨイ  
本場新茶 入荷致しました  
◎一斤 一、〇〇〇、一、六〇〇

香味本場の本場録茶  
召上りませう……

御來店の  
方に一服  
呈上……

電三九六番  
大勝園